

社会情報

Vol. 13 No. 2 Mar. 2004

Social Information

小特集

第13回社会と情報に関するシンポジウム

高校の教科「情報」の理念と現実—大学教育は何をなしうるのか—
高校普通教科「情報」と大学「情報教育」との接続性をどう考えるか

岡本 敏雄

新教科「情報」の理想と現実
学びのインフラとしての「情報」

生田 茂
奥村 稔

論文

価値判断過程の解析と形式化

長田 博泰

高速省電力ウェーブパイン用評価テスト回路の開発
佐藤 友暁, 江川 隆輔, 深瀬 政秋, 中村 維男

試論

基礎ゼミナールⅡにおける学生の「学び」(1)

—TA後期担当制以降の現状と課題—

井上 大樹, 淀野 順子

大学教育における「学び」の基本を培うために
—基礎ゼミナールの担当教員としての経験を中心に—

井上 芳保

馬産地における地域形成と集落再編
～地域づくりを規定する要因とは～

小内 純子

書評論文とそのリプライ

高橋 徹著『意味の歴史社会学 ルーマンの近代ゼマンティック論』

誰が今ルーマンを読む(べきな)のか? 北田 晓大

「作品」としての社会理論—北田晓大氏へのリプライ

高橋 徹

研究会報告

第17回「社会情報調査の方法に関する研究会」

パブリックアクセスと市民メディアの交差 石井 和平

「シビックメディア」と市民によるジャーナリズム 吉村 卓也

地域市民からの発信の可能性と課題

—日本型パブリック・アクセスは可能か— 津田 正夫

北海道高等学校教育研究会 第2回情報部会研究会参加報告

石川 千温

活動報告

北海道社会調査データベース作成の理念と方針

—SORD新プロジェクトへの方針転換と2年間の活動報告—

中澤 秀雄, 西城戸 誠, 新國三千代

大國 充彦, 森田 誠, 新藤 廉

札幌学院大学社会情報学部